

大東市DX推進基本計画【概要版】

デジタルで加速する「幸せのまち 大東づくり」
～三好長慶公に魅せる500年後の大東～

計画の目的 = 本市の「行政DX」の必要性や方向性の共有

「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」をデジタルの力で加速させる」

必要なことは、単なる先端技術の導入やアナログからデジタルへの変換ではなく、それに合わせた制度や施策、組織の在り方自体の変革、そして職員一人ひとりの意識の改革。これを皆で進めること。

※「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」とは、
「デジタル技術の活用によって、業務や組織の在り方を変革し、より良い方向に導くこと。」

大東市「行政DX」推進の方向性



① 推進の全体フレーム

基本理念は、「あふれる笑顔 幸せのまち大東づくり」
「住民の福祉の増進」を目的に、「行政サービスの向上及び業務の効率化」を目標として推進

本市の課題を解決し、大東市「行政DX」を実現するための3本の柱

職員一人ひとりがデジタル化を目的ではなく、手段として活用するための人材育成を戦略の基礎に

「デジタル3原則」

- デジタルファースト
...個々の手続・サービスが一貫してデジタルで完結
- ワンスオンリー
...一度提出した情報は、二度提出することを不要に
- コネクテッド・ワンストップ
...複数の手続・サービスをワンストップで実現

② 取り組むにあたってのマインドセット（心構え・考え方）

- 「サービスデザイン思考で」
...利用者中心の行政サービスを。
- 「ファーストペンギンになる」
...前例踏襲にとらわれず、新しいことにチャレンジ。

「3本の柱」に基づいた推進項目

(1) 窓口改革 ～「快適で、ぬくもりのある窓口」の実現に向けて～

- 「いつでも、どこからでも」申請ができる「オンライン申請」への比率を高め、市民の利便性を向上
- マンパワーは、庁舎窓口における「利用者に寄り添った、ぬくもりのある対応」に重点的にシフト
- オンライン申請が困難な市民や不慣れな市民が不利益を感じることはないよう併せて検討

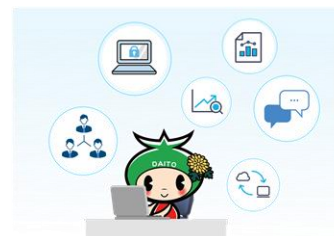


- 行政手続のオンライン化
- キャッシュレス決済の導入（公金収納チャネルの多様化）
- 総合窓口の導入
- マイナンバーカードの普及促進
- 自治体情報システムの標準化・共通化

(2) オフィス改革 ～「work smart & work vivid」行政の新たな価値の創造に向けて～

- 全職員がスマートに働き、イキイキと活躍できる職場を目指す
- 業務の効率化でデジタル技術では対応できない分野への対応を強化

- | | |
|-------------|----------------|
| ①ペーパーレス化の推進 | ⑤テレワークの推進 |
| ②デジタル人材の育成 | ⑥オンライン会議の推進 |
| ③戦略的人材・組織活用 | ⑦フリーアドレスの導入 |
| ④セキュリティ対策 | ⑧各種システム・ツールの導入 |



(3) 地域社会のDXの推進 ～全ての人々がデジタル化のメリットを享受できる地域社会の実現に向けて～

- 市民の暮らしや地域社会全体へデジタル化を浸透し、一人ひとりの生活の質の向上を実現
- 地域で支え合いながら、本市の資源や魅力を活かし、地域課題を解決

- | | |
|-----------------------|---------------|
| ①デジタルデバインド対策 | ③オープンデータの活用推進 |
| ②デジタル技術の活用による情報提供の最適化 | ④先端デジタル技術の活用 |

着実な推進に向けて

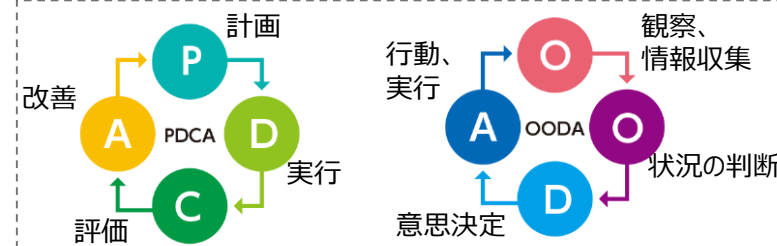
「PDCAサイクル」+「OODAループ」による進捗管理と意思決定

体制整備

- 大東市DX推進本部のもとに、連絡会、ワーキングチームを設置
- 行政DXの推進に向けた組織機構の改編も併せて検討

KPI管理

- スケジュールや指標を設定し、着実な施策の推進を図る



- 「OODAループ」によるスピーディな意思決定で、時代の変化に合わせた新しい施策を「迅速」かつ「柔軟」に実施
- 状況に応じて、適切な考え方・プロセスで相互に補完